

藤田商事

東北鉄鋼センター本稼働

鋼材切断 能力倍增 短納期対応を強化

特殊鋼流通の藤田商事（本社千葉県浦安市、藤田忠義社長）は、東北支店（仙台市）を改築するとともに隣接する「東北鉄鋼センター」を新築し、このほど本格稼働を開始した。工場建屋の老朽化と業容拡大に伴い、手狭となったことから、敷地内に従来の1.5倍の広さで省力化・省人化・省エネ化を目指した東北の新拠点を開設した。鋼材の切断能力は従来比増し、一層の短納期に対応する。鉄鋼センターは頑丈かつ堅牢な構造で、天窓を採用。自然採光による節電効果を見込む。冬の寒さを想定し、センター内で快適な作業ができようシートシャッターを設置した。

藤田商事の東北鉄鋼センターは、敷地面積7933平方メートル、建屋1858平方メートル、土地はまだ半分程度の遊休地を残しており、活用と、それぞれ従来の倉庫を大きく上回る機能を持ち、月間売上高は1億8000万円を目標、切断能力600トン、従業員は14人。

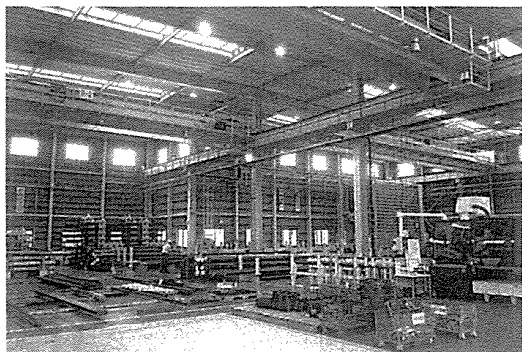
販売地域は宮城、山形、福島を中心に東北6県、約150社が対象。配送面では7・5を外注委託する。営業品目は構造用鋼、ステンレス棒鋼、普通鋼、非鉄金属、機械加工品（旋盤、フラ

イス、BTA深穴加工など）、独カスト社製品、各種工具。機械設備は中山機械製4・8メートル天井クレーン4基（うち1基はダブルホイスト採用）、定尺材のクレードラック、切断残材の立体自動保管システム。切断機は全てカスト社製で3台を新設した。高精度、高速、本体前後装置によるハンドリングの自動化およびアイドルタイム減少による生産性が大幅に向上し

た。藤田社長は「ユーザーニーズに迅速に対応するため、営業品目は広く取り扱う。即納体制で東北6県の小口需要を細かくとらえていきたい」と話した。



東北鉄鋼センター外観



省力化・省人化・省エネ化を目指した

【藤田商事 東北支店・東北鉄鋼センター】
 ▼住所 仙台市若林区御町東5-7-16
 ▼電話 022-288-5505
 ▼FAX 022-288-5871